

全国中小企業動向調査結果

(2024年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

(前回)持ち直しの動きに足踏みがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲21.0となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からほぼ横ばいの▲6.9となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲14.5となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲21.0 (+2.8)	▲6.9 (+0.1)	▲14.5 (+3.1)	▲18.9 (+5.1)	▲15.4 (+0.8)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

(前回)持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から低下し、▲1.3となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から低下し、6.9となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲6.9となった。
来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲1.3 (-8.3)	6.9 (-5.6)	▲6.9 (-5.4)	▲0.6 (-3.3)	4.1 (-1.3)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:青野、葛貫)
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:白石、立澤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※資料編につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

目次

調査結果の概要	1
---------	---

【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

【中小企業編】

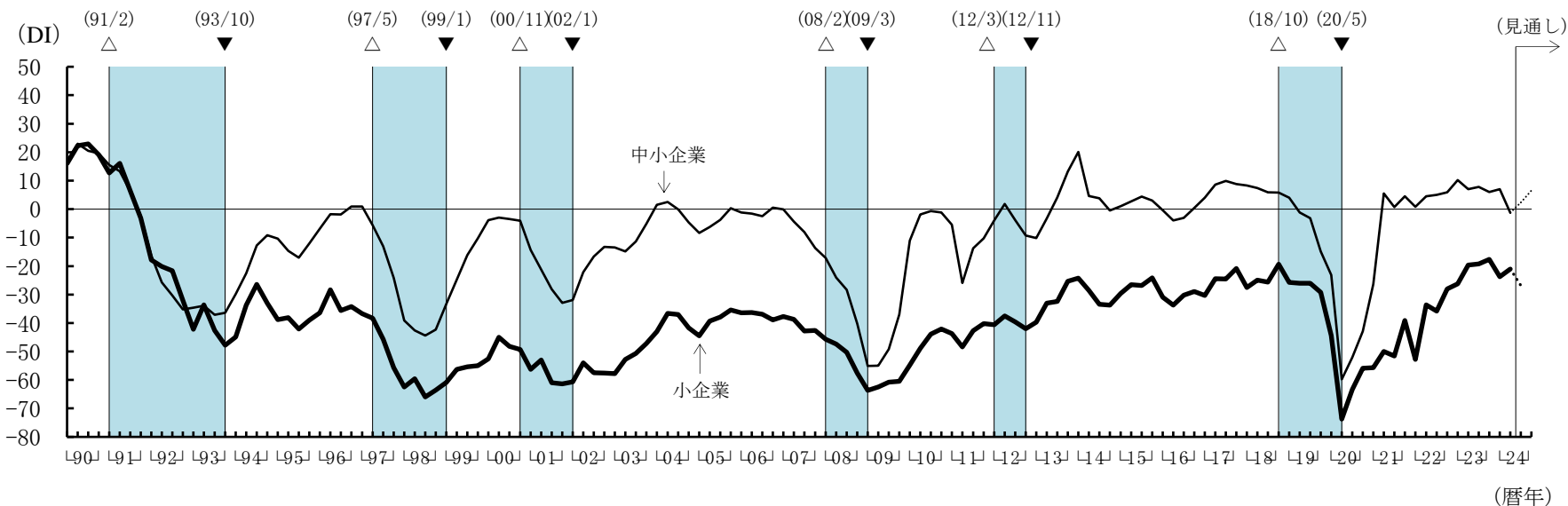
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

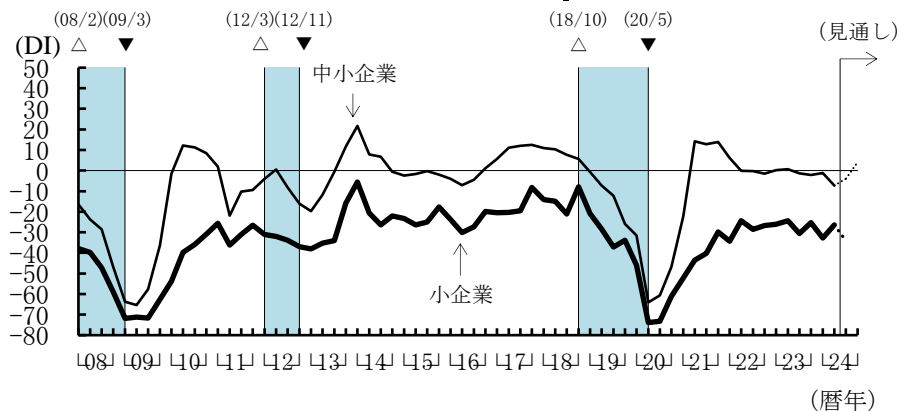
①全業種計

	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12
中小企業	4.5	5.1	5.9	10.2	7.0	7.8	6.0	7.0	▲ 1.3	見通し	見通し
小企業	▲ 33.6	▲ 35.8	▲ 28.0	▲ 26.3	▲ 19.7	▲ 19.2	▲ 17.6	▲ 23.8	▲ 21.0	▲ 26.8	-



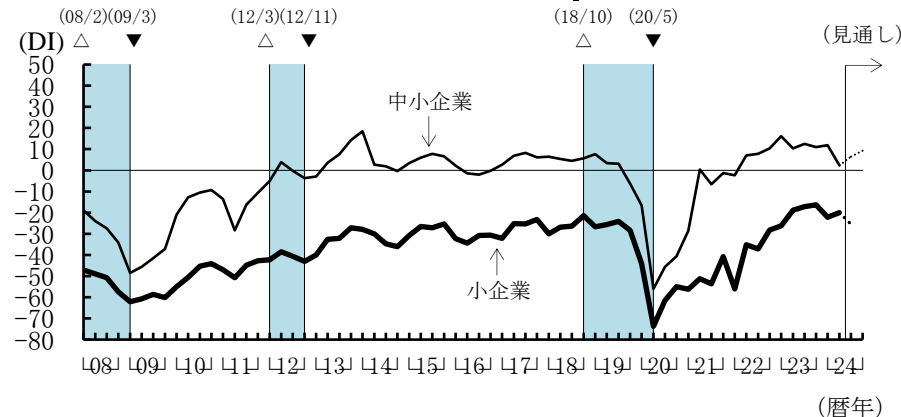
②製造業

	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12
中小企業	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 7.3	▲ 3.9	4.1
小企業	▲ 25.3	▲ 32.8	▲ 26.5	▲ 34.2	-



③非製造業

	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12
中小企業	10.9	11.9	2.3	6.5	9.3
小企業	▲ 16.3	▲ 22.1	▲ 20.0	▲ 25.5	-

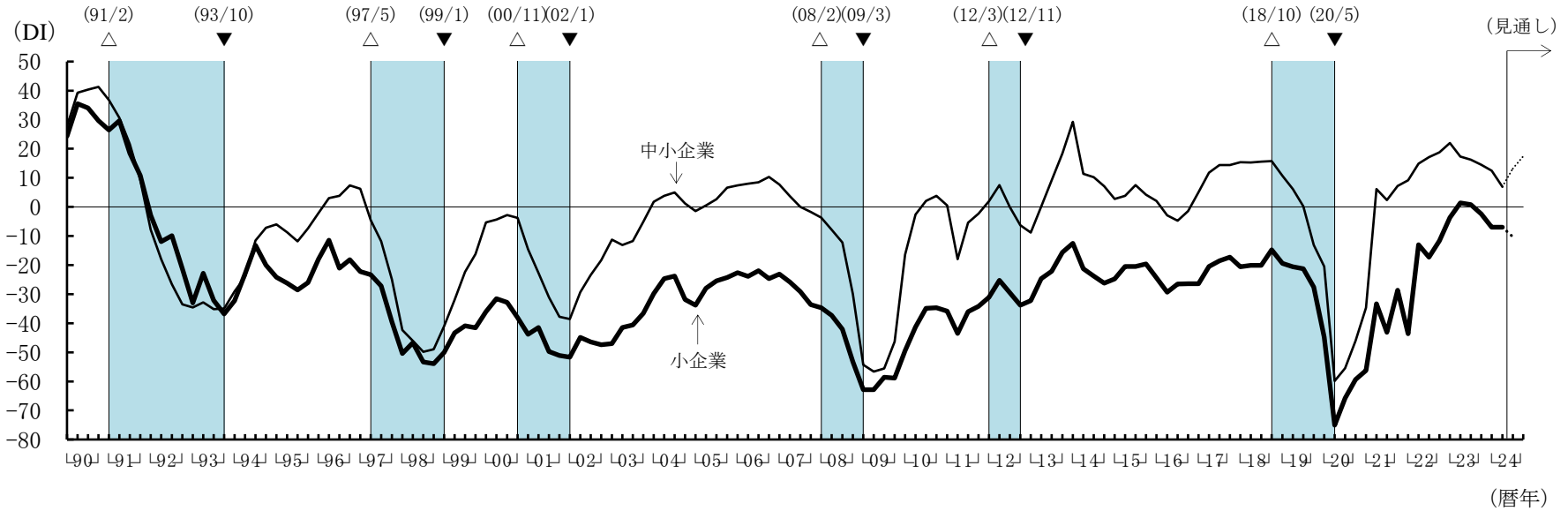


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

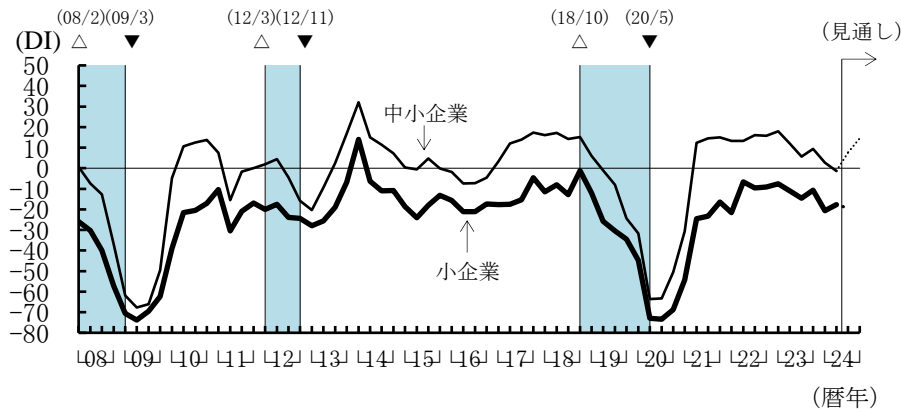
①全業種計

	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12
中小企業	14.9	17.2	18.8	22.0	17.3	16.3	14.5	12.5	6.9	見通し	見通し
小企業	▲13.0	▲17.3	▲11.6	▲3.6	1.4	0.8	▲2.4	▲7.0	▲6.9	▲10.3	-



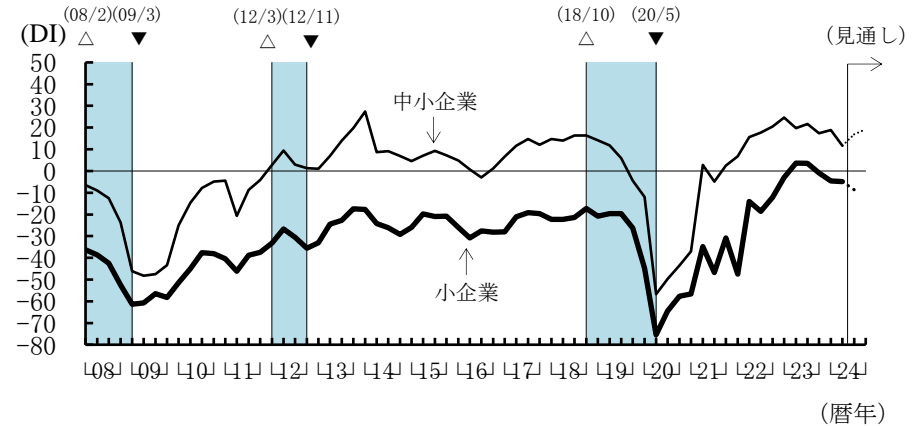
②製造業

	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12
中小企業	9.3	2.6	▲1.3	見通し	見通し
小企業	▲10.6	▲20.7	▲17.7	▲19.4	-



③非製造業

	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12
中小企業	17.4	18.8	11.7	見通し	見通し
小企業	▲0.9	▲4.6	▲4.9	▲8.6	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

小企業編

(2024年4－6月期実績、7－9月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[調査の実施要領]

調査時点 2024年6月中旬
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
 有効回答数 5,991 企業 [回答率 59.9 %]

<業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業員20人未満)	1,500 企業	937 企業	(構成比 15.6 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	611 企業	(同 10.2 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,334 企業	(同 22.3 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	899 企業	(同 15.0 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,262 企業	(同 21.1 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	72 企業	(同 1.2 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	738 企業	(同 12.3 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	138 企業	(同 2.3 %)

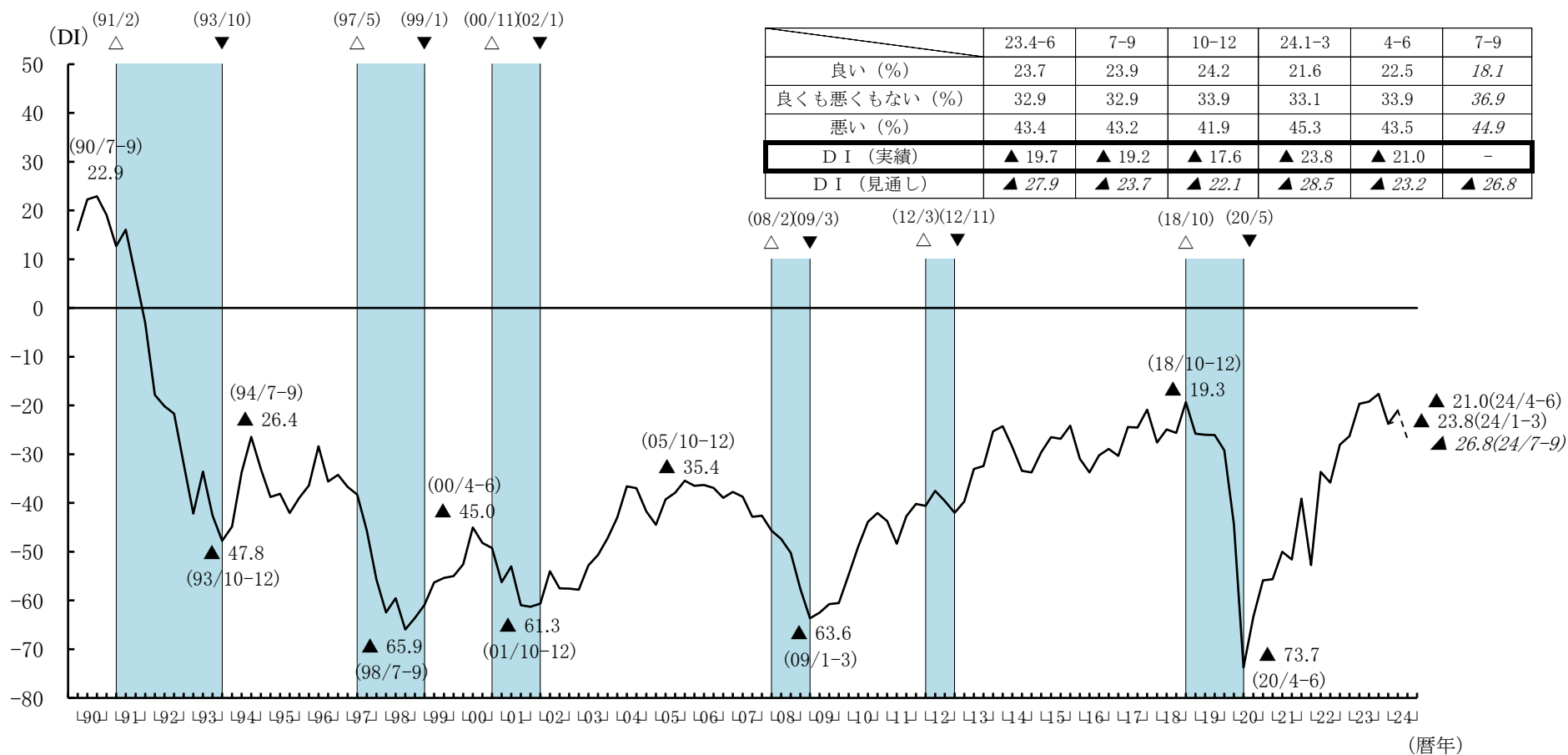
(参考)

法人	4,007 企業	(構成比 66.9 %)
個人	1,984 企業	(同 33.1 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2024年1-3月期）からマイナス幅が2.8ポイント縮小し、▲21.0となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲26.8となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（全業種計）

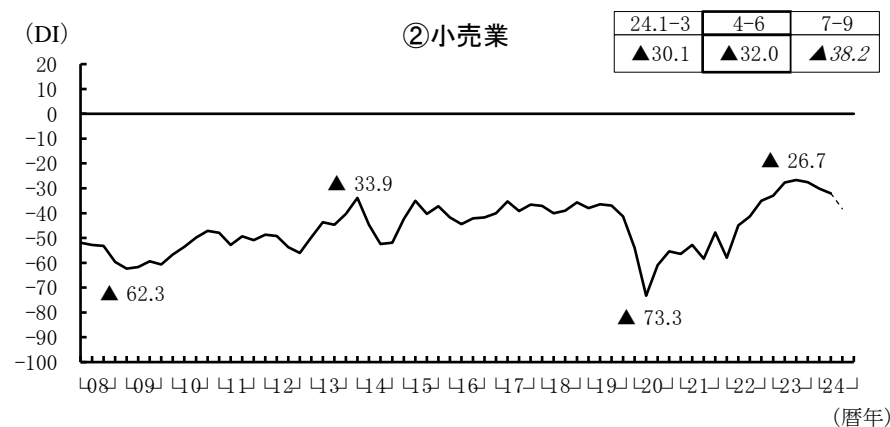
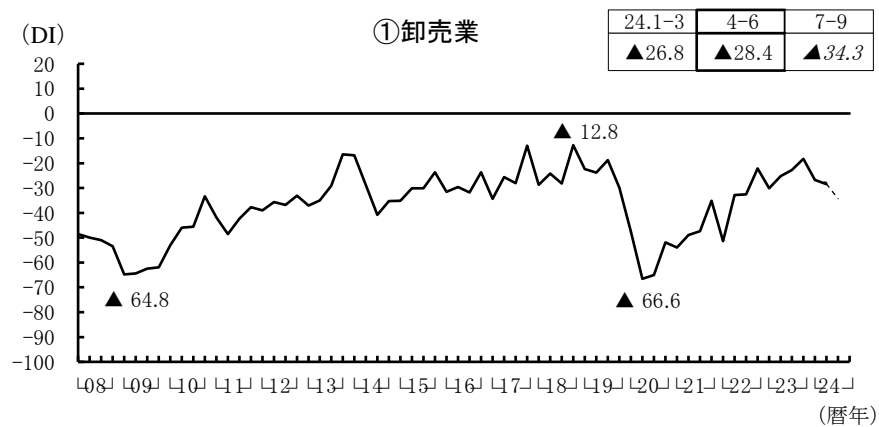
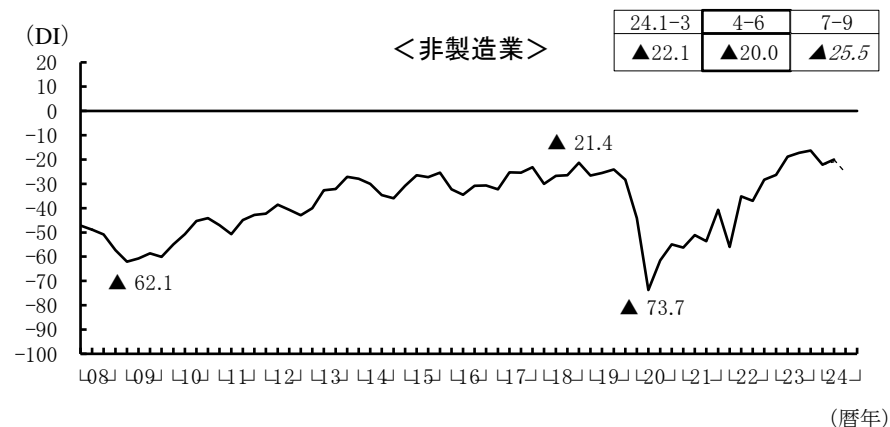
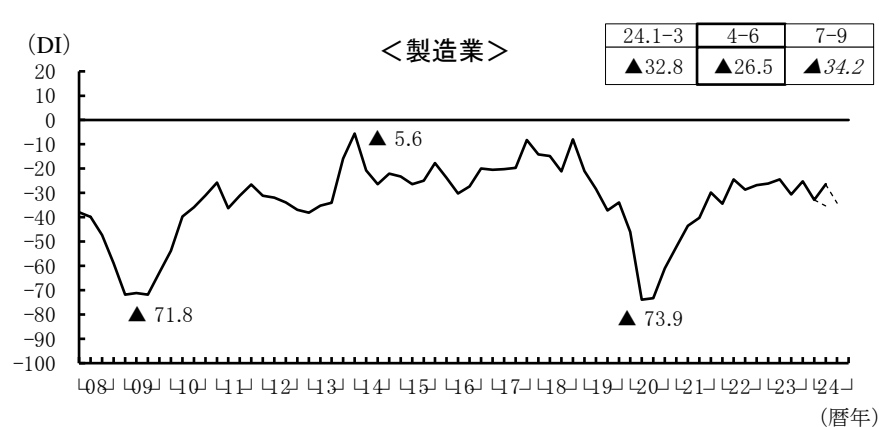


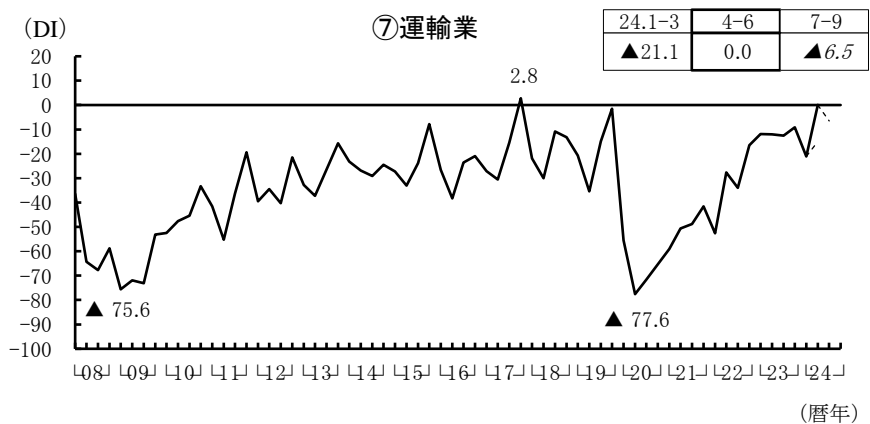
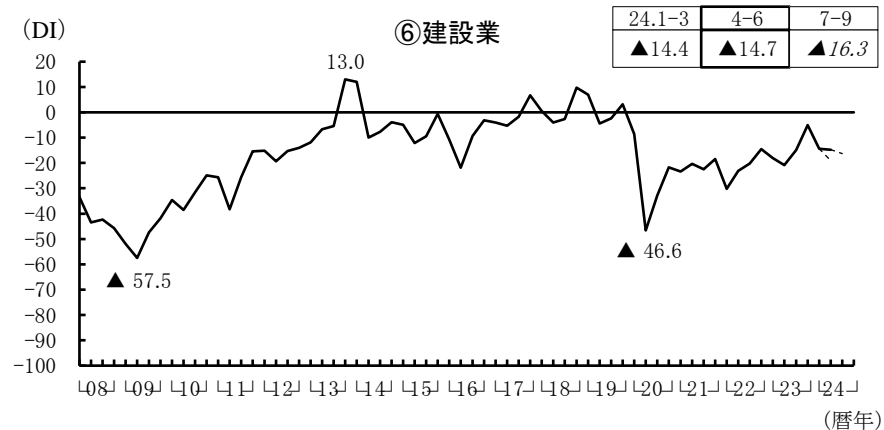
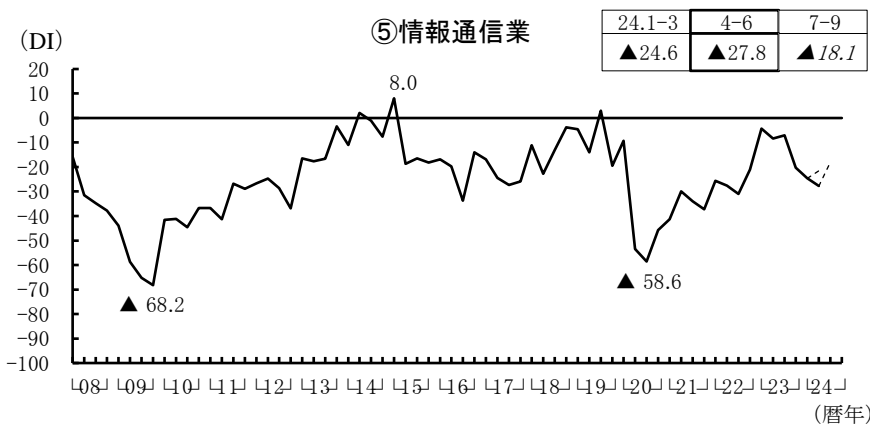
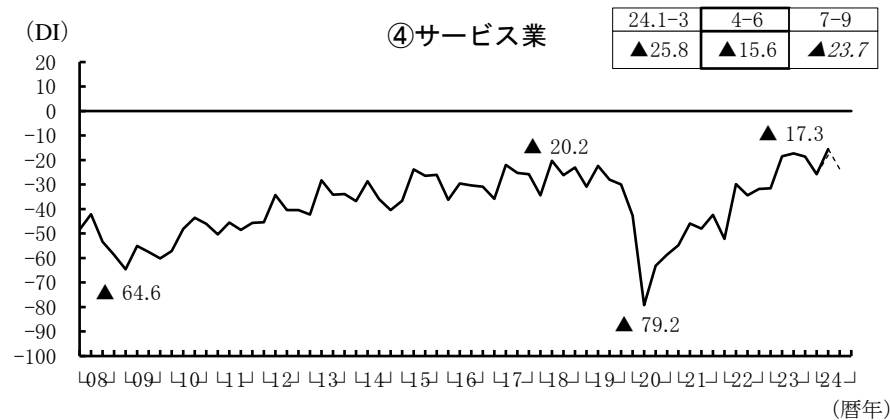
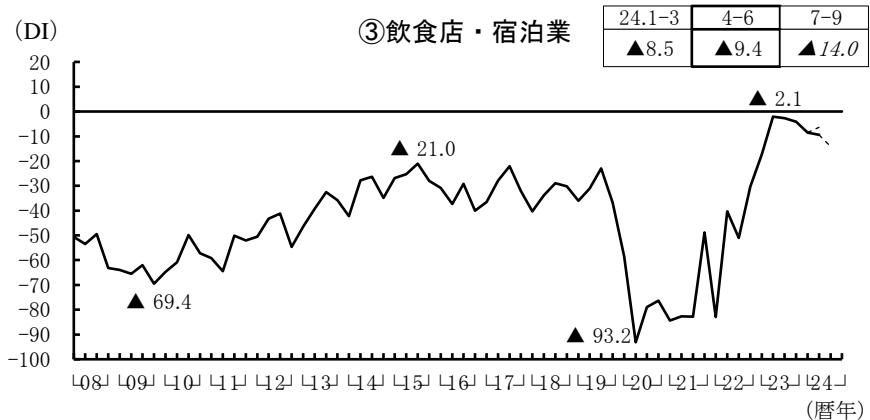
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲26.5）、非製造業（▲20.0）ともにマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、サービス業と運輸業でマイナス幅が縮小した。

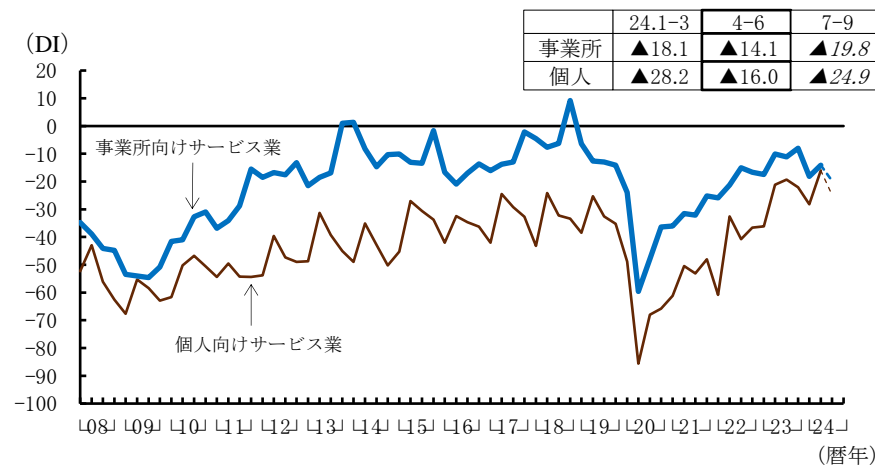
○ 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

図－2 業種別業況判断DIの推移



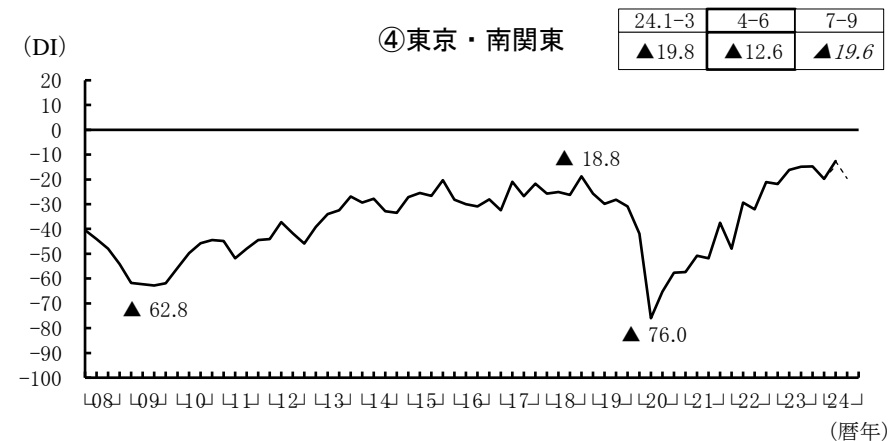
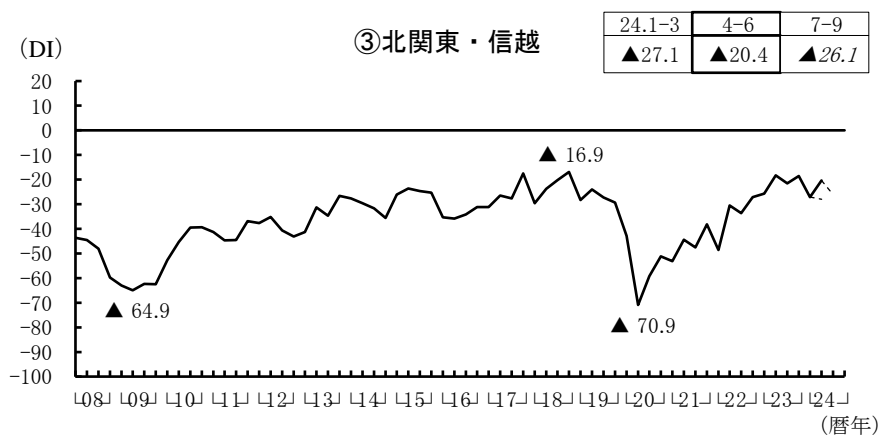
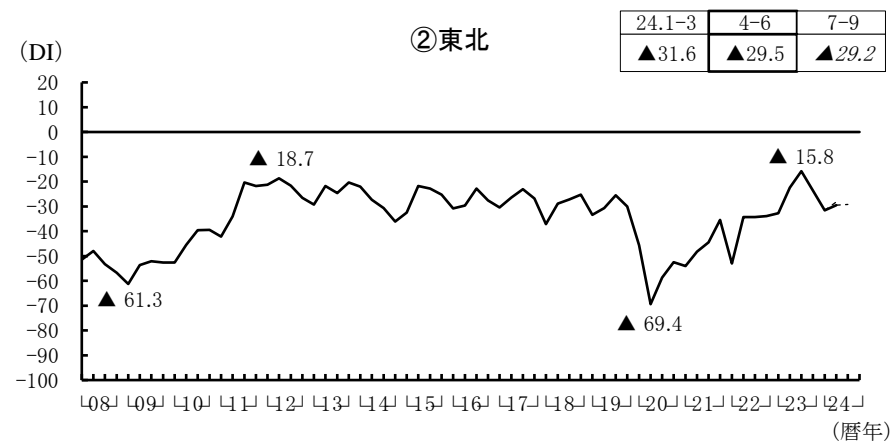
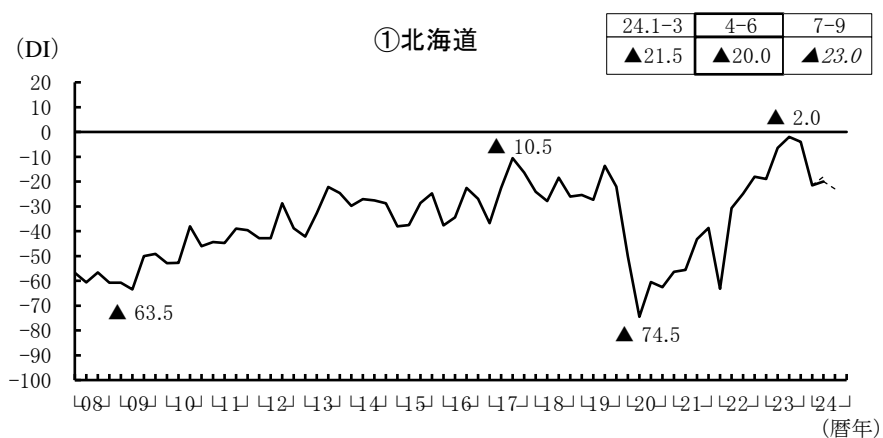


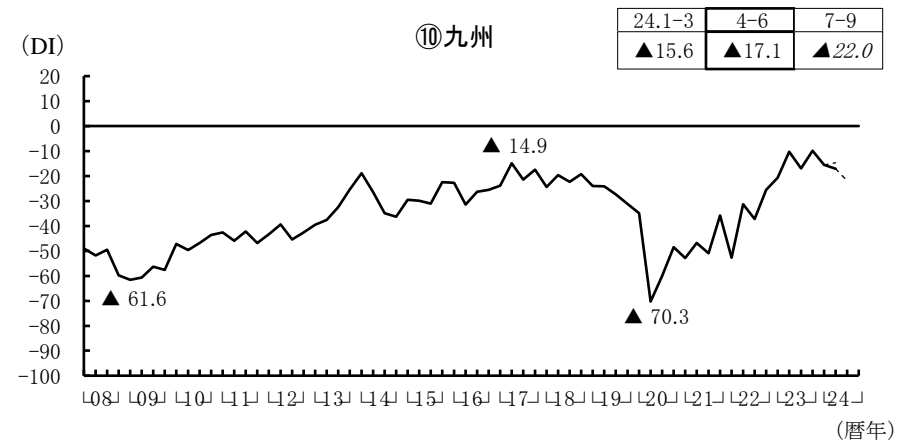
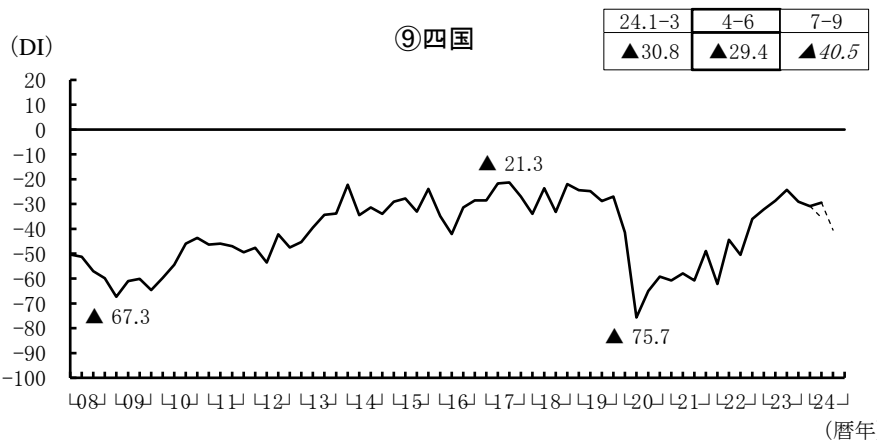
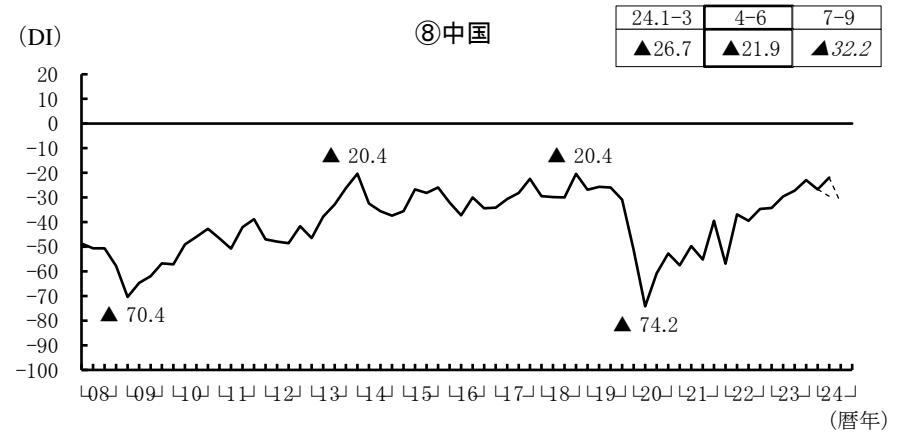
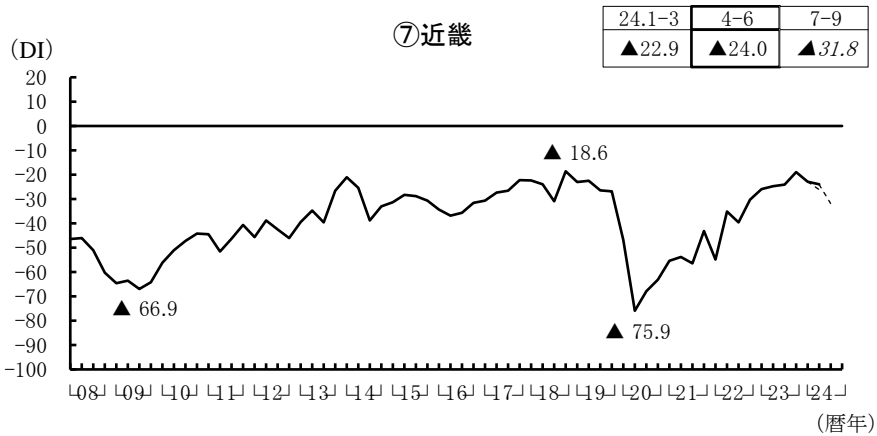
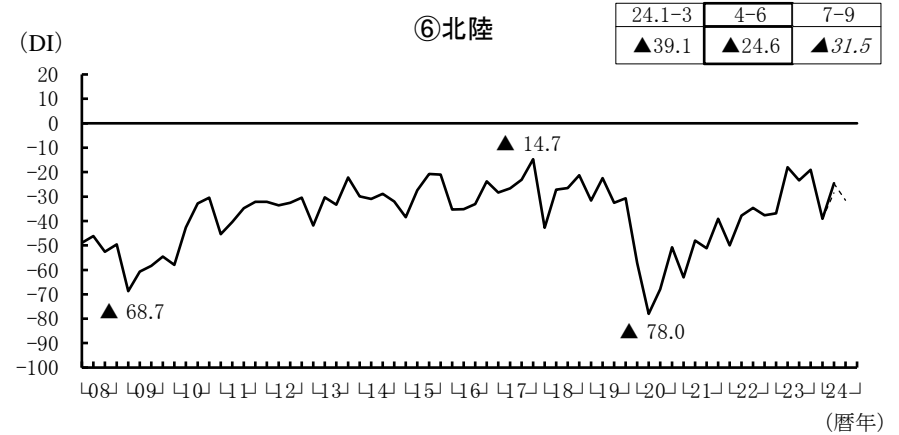
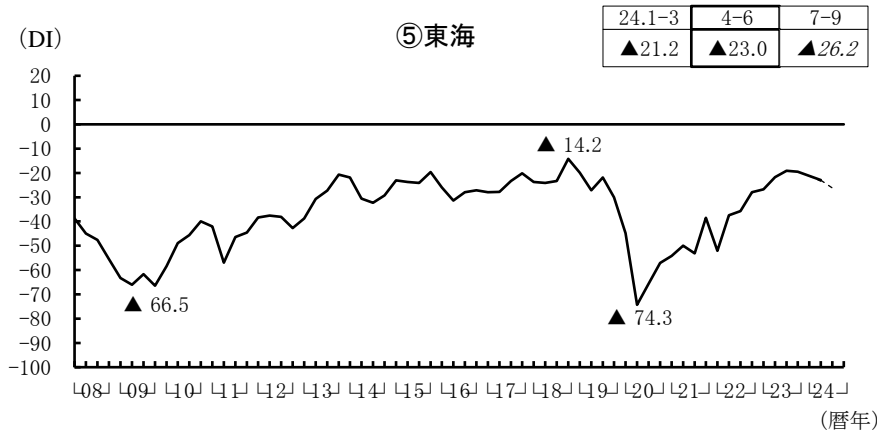
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、東海と近畿、九州を除くすべての地域でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、東北を除くすべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

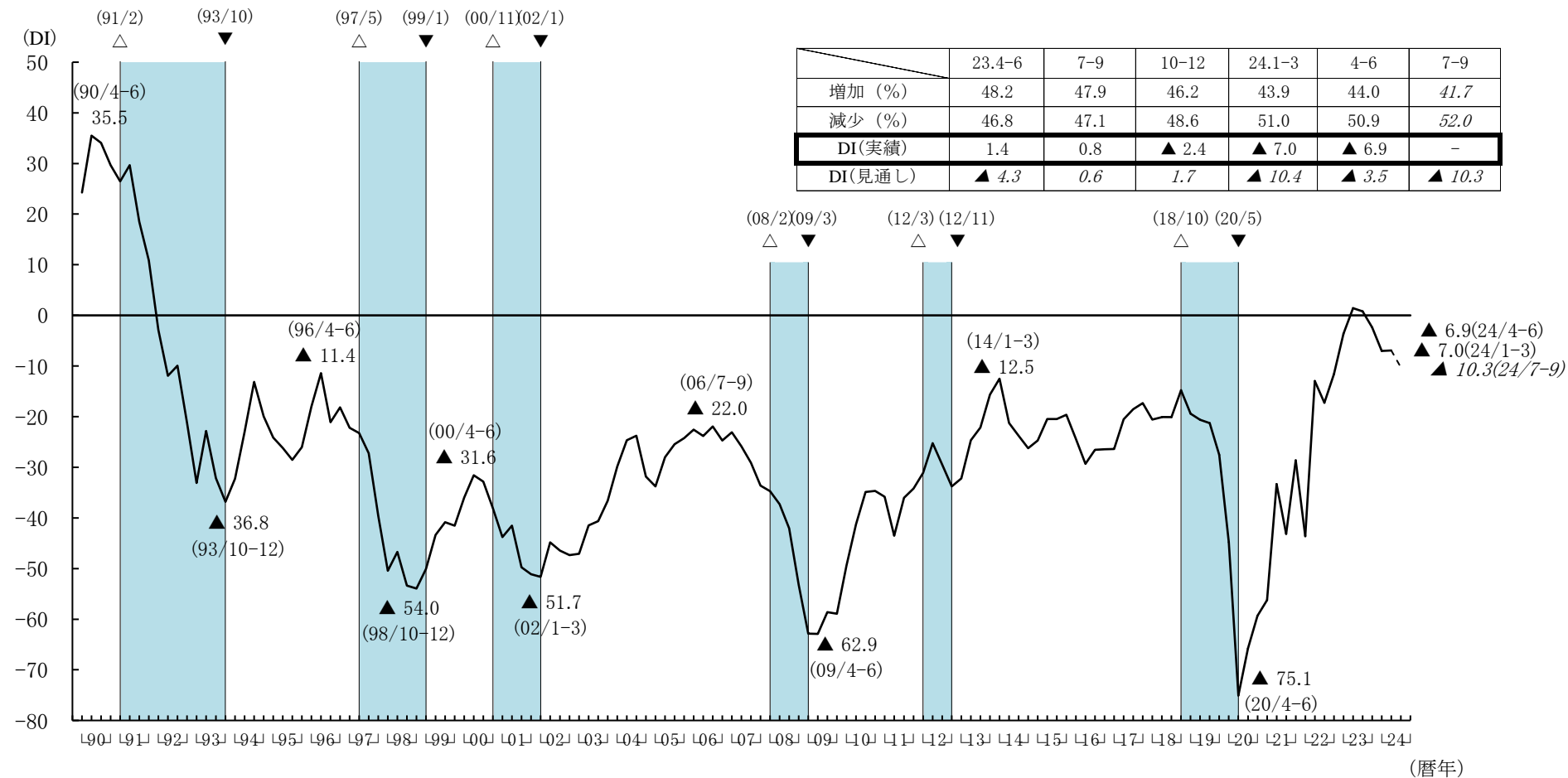




2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からほぼ横ばいの▲6.9となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

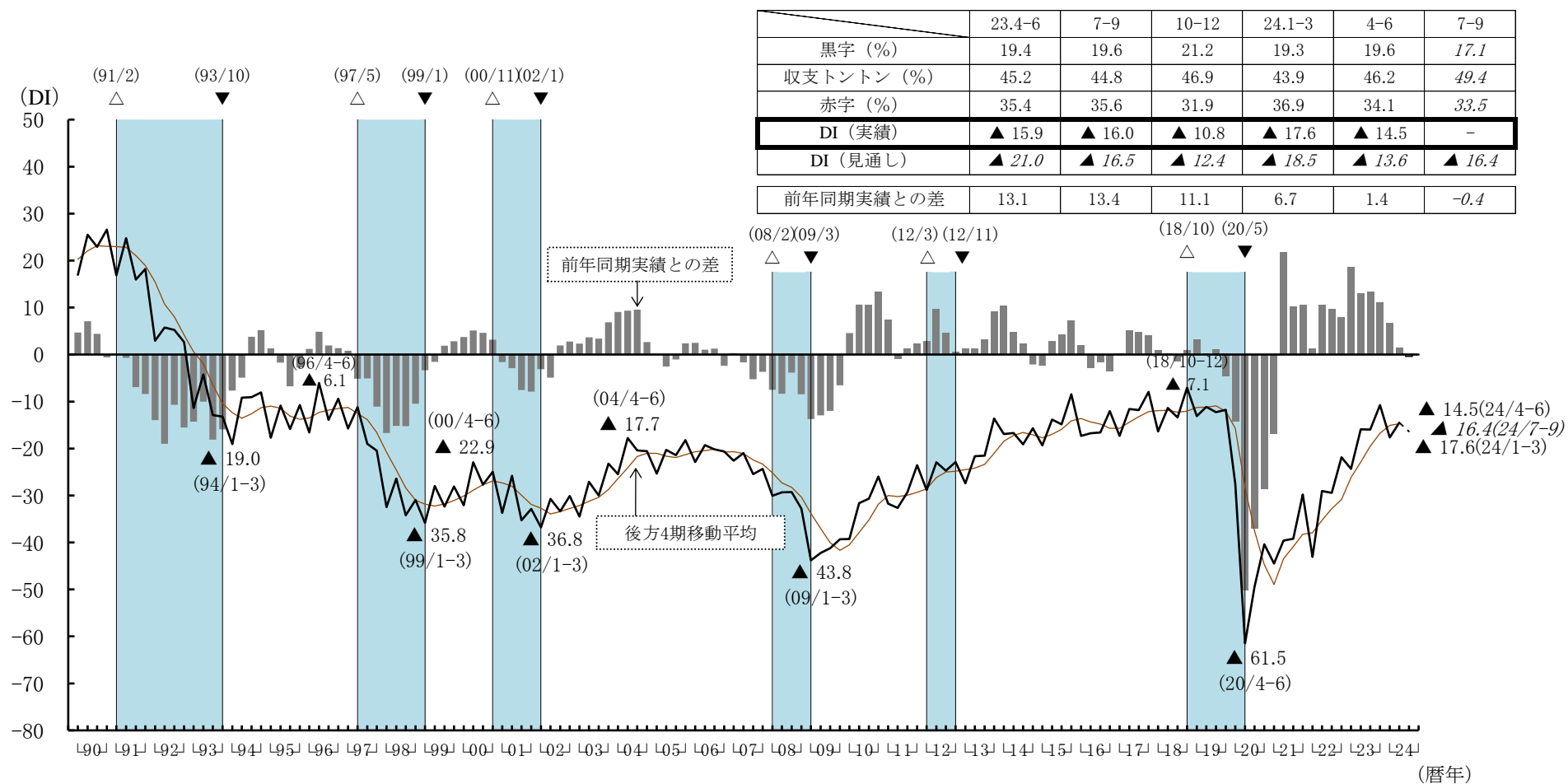
図－4 売上DIの推移（全業種計）



3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が3.1ポイント縮小し、▲14.5となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－5 採算DIの推移（全業種計）

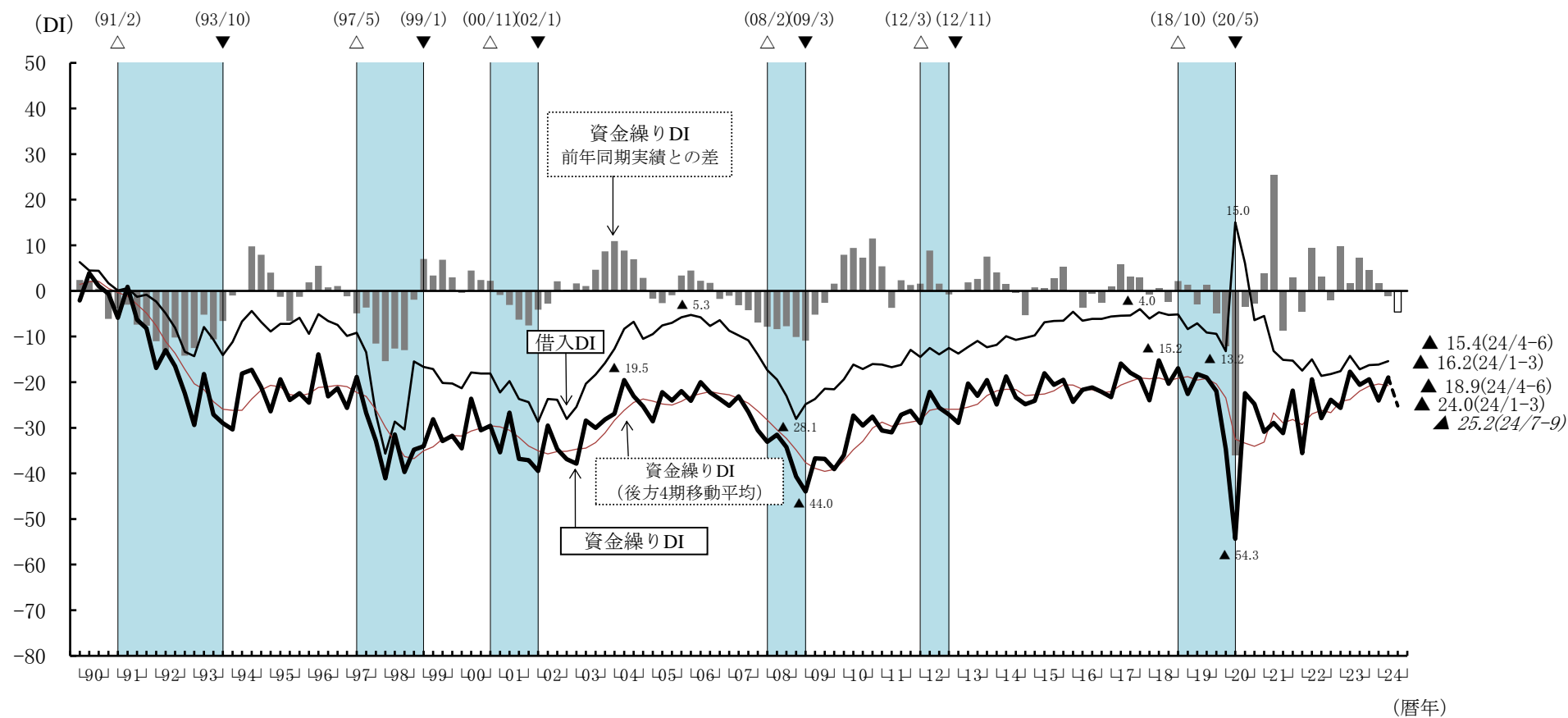


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が5.1ポイント縮小し、▲18.9となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が0.8ポイント縮小し、▲15.4となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



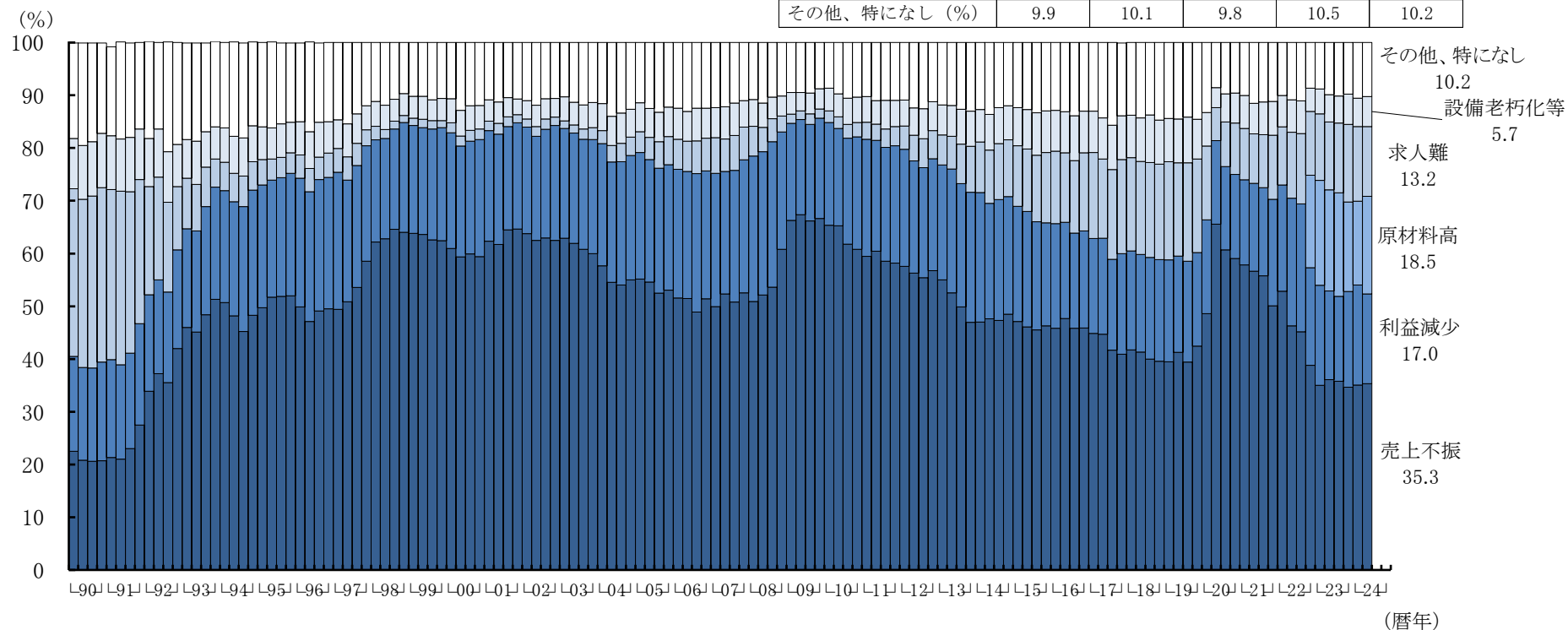
- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が35.3%と最も多く、次いで、「原材料高」（18.5%）、「利益減少」（17.0%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計）

	23.4-6	7-9	10-12	24.1-3	4-6
売上不振 (%)	36.1	35.8	34.7	35.1	35.3
利益減少 (%)	16.8	16.1	18.1	19.0	17.0
原材料高 (%)	19.2	19.6	17.0	15.9	18.5
求人難 (%)	12.9	13.2	14.7	14.2	13.2
設備老朽化等 (%)	5.2	5.1	5.8	5.4	5.7
その他、特になし (%)	9.9	10.1	9.8	10.5	10.2

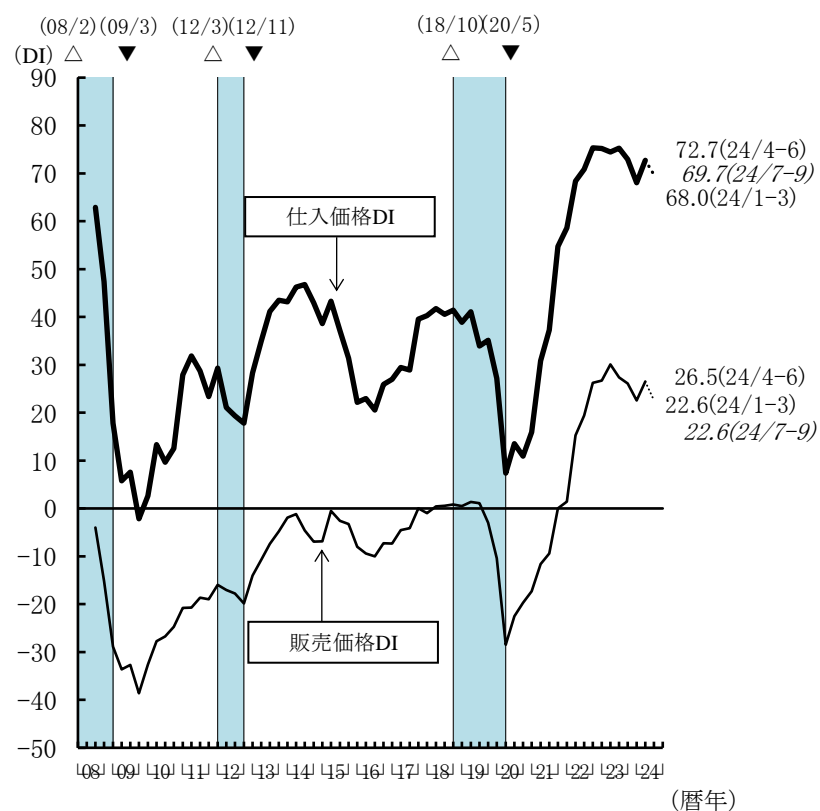
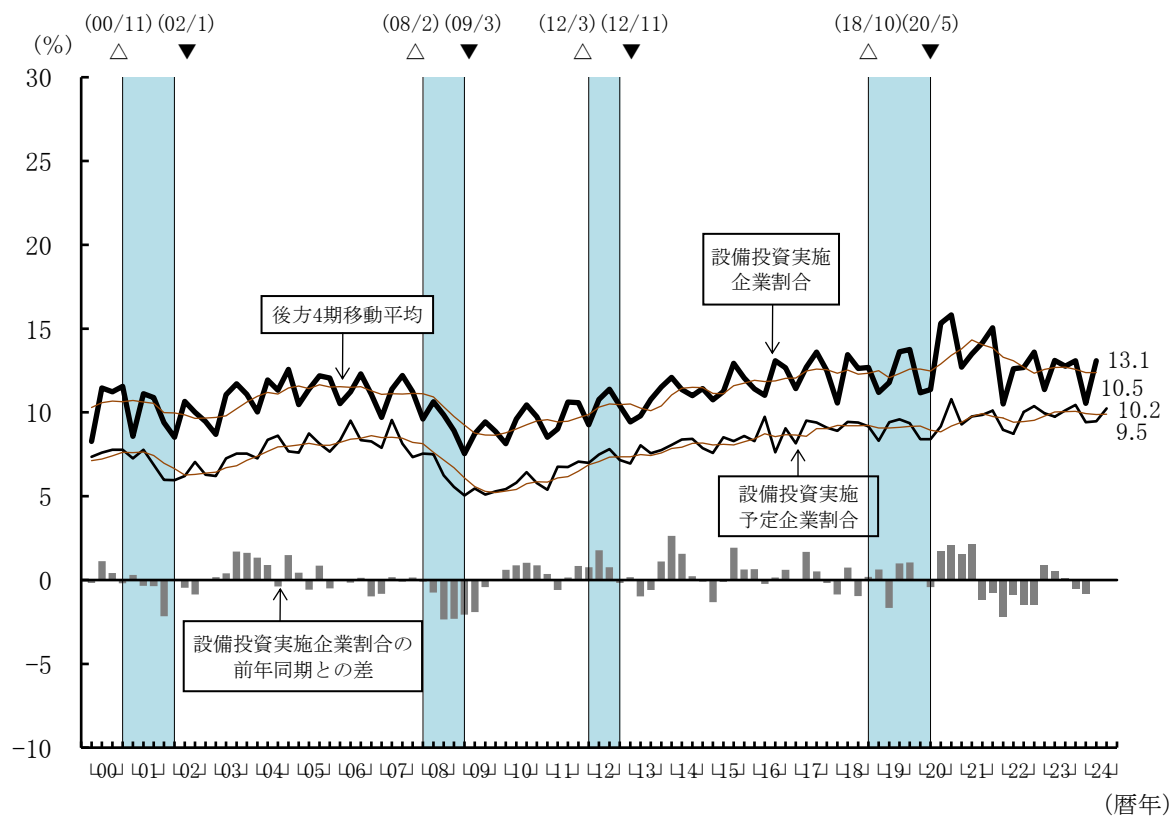


- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。
 2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したものの。
 3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から2.6ポイント上昇し、13.1%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、3.9ポイント上昇し、26.5となった。来期は低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、4.7ポイント上昇し、72.7となった。来期は低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

中小企業編

(2024年4－6月期実績、2024年7－9月期および10－12月期見通し)

中小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2024年6月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）11,781社
有 効 回 答 数	4,769 社 [回答率 40.5 %]

< 業 種 構 成 >

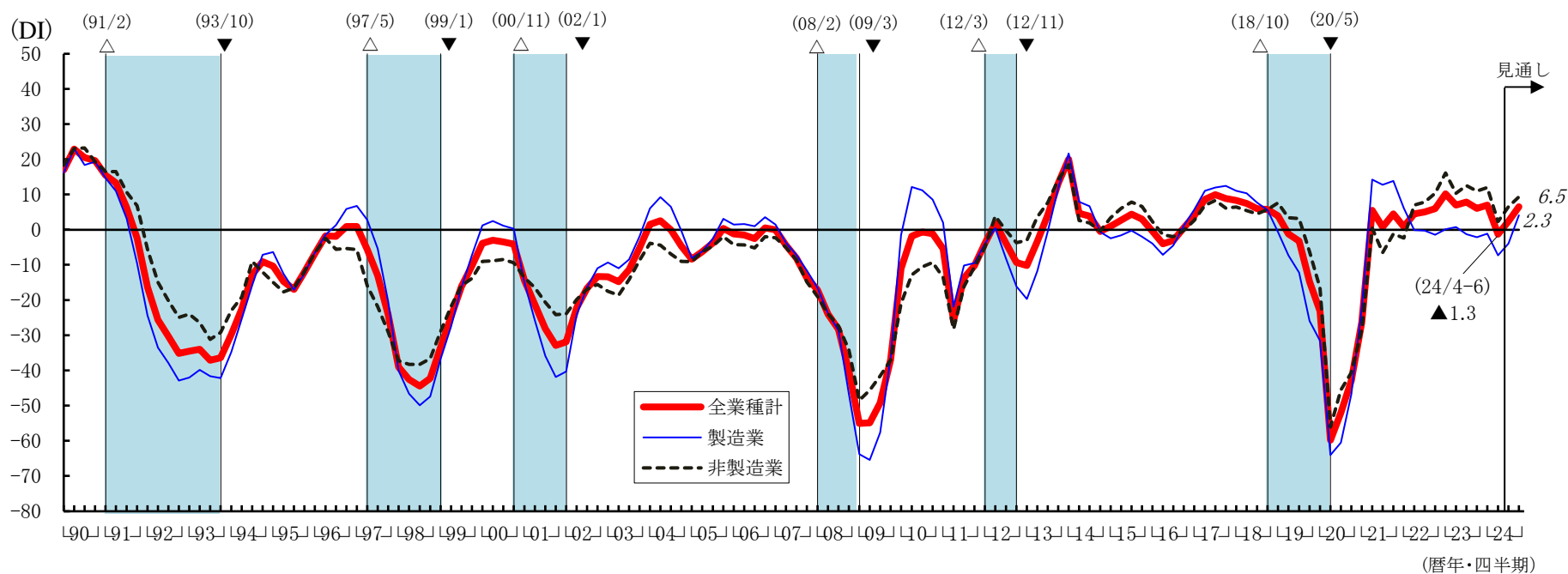
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,023 社	1,788 社	(構成比	37.5 %)
鉱 業	12 社	6 社	(同	0.1 %)
建 設 業	1,049 社	448 社	(同	9.4 %)
運送業(除水運)	765 社	329 社	(同	6.9 %)
水 運 業	149 社	65 社	(同	1.4 %)
倉 庫 業	46 社	26 社	(同	0.5 %)
情 報 通 信 業	318 社	115 社	(同	2.4 %)
ガ ス 供 給 業	9 社	7 社	(同	0.1 %)
不 動 産 業	703 社	274 社	(同	5.7 %)
宿泊・飲食サービス業	701 社	223 社	(同	4.7 %)
卸 売 業	1,649 社	656 社	(同	13.8 %)
小 売 業	849 社	290 社	(同	6.1 %)
サ ー ビ ス 業	1,508 社	542 社	(同	11.4 %)

1 業況判断

- 今期（2024年4－6月期）の業況判断DIは、前期（2024年1－3月期）から8.3ポイント低下し、▲1.3となった。
- 来期（2024年7－9月期）は2.3と上昇し、来々期（2024年10－12月期）は6.5となる見通しである。

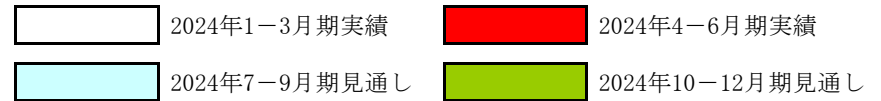
図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6 (前回見通し)	2024/7-9 (前回見通し)	2024/10-12
業況判断DI (季節調整値)	7.0	7.8	6.0	7.0	▲1.3 (8.2)	2.3 (12.1)	6.5
製 造 業	0.7	▲1.3	▲2.1	▲1.2	▲7.3 (3.8)	▲3.9 (9.1)	4.1
非 製 造 業	10.3	12.5	10.9	11.9	2.3 (10.7)	6.5 (12.4)	9.3

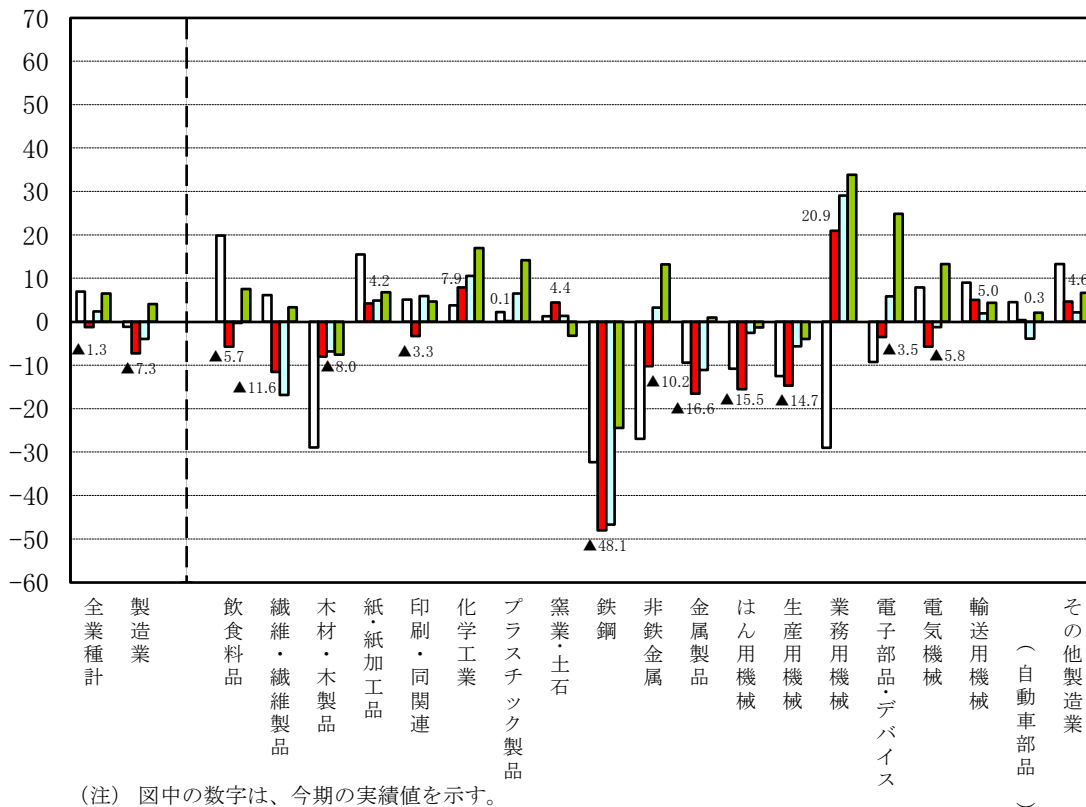


- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、業務用機械、木材・木製品、非鉄金属等が上昇した。一方、飲食料品、繊維・繊維製品、鉄鋼等は低下した。
- 非製造業は、宿泊・飲食サービス業、倉庫業、卸売業等が低下した。

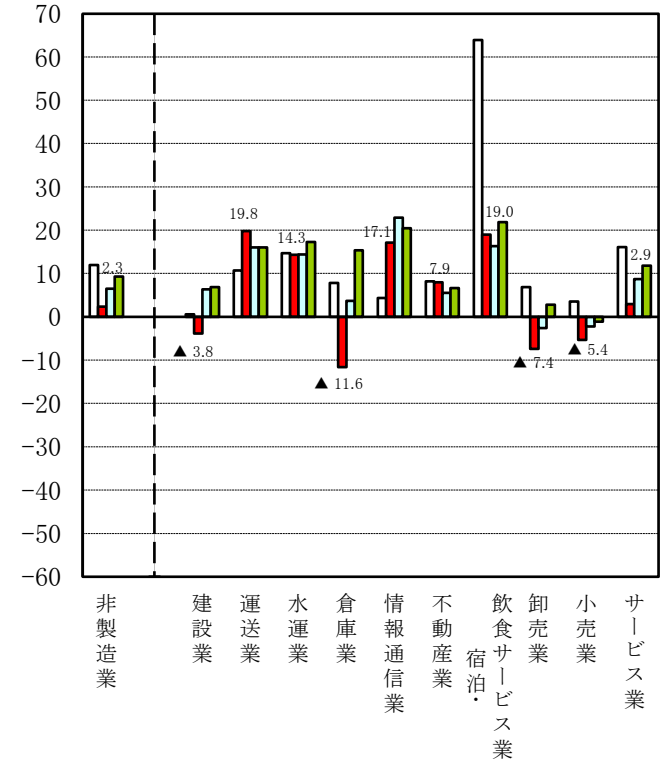
図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）



－製造業－
(DI)

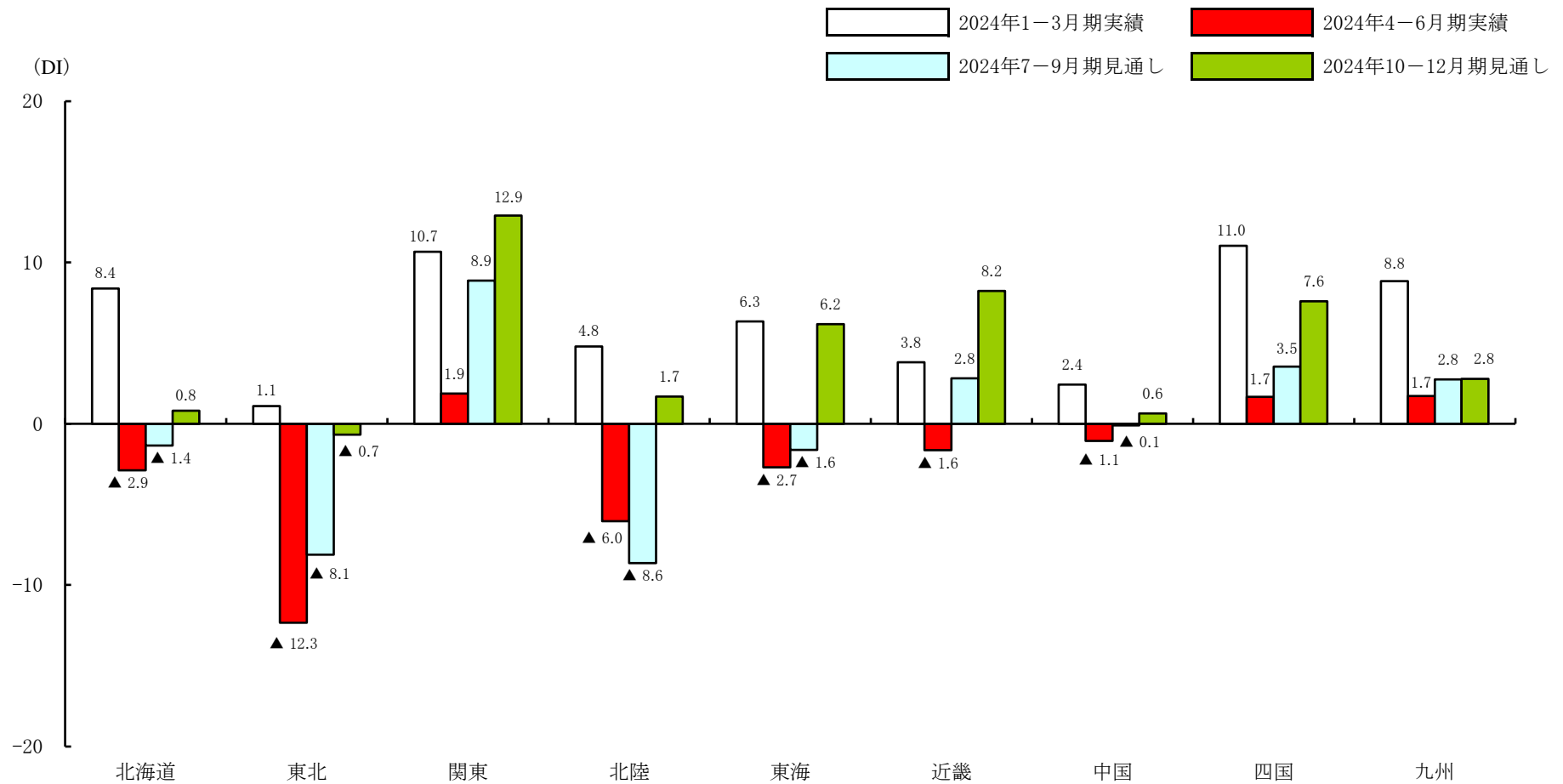


－非製造業－
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期はすべての地域で低下した。
- 来期は、北陸以外の8地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

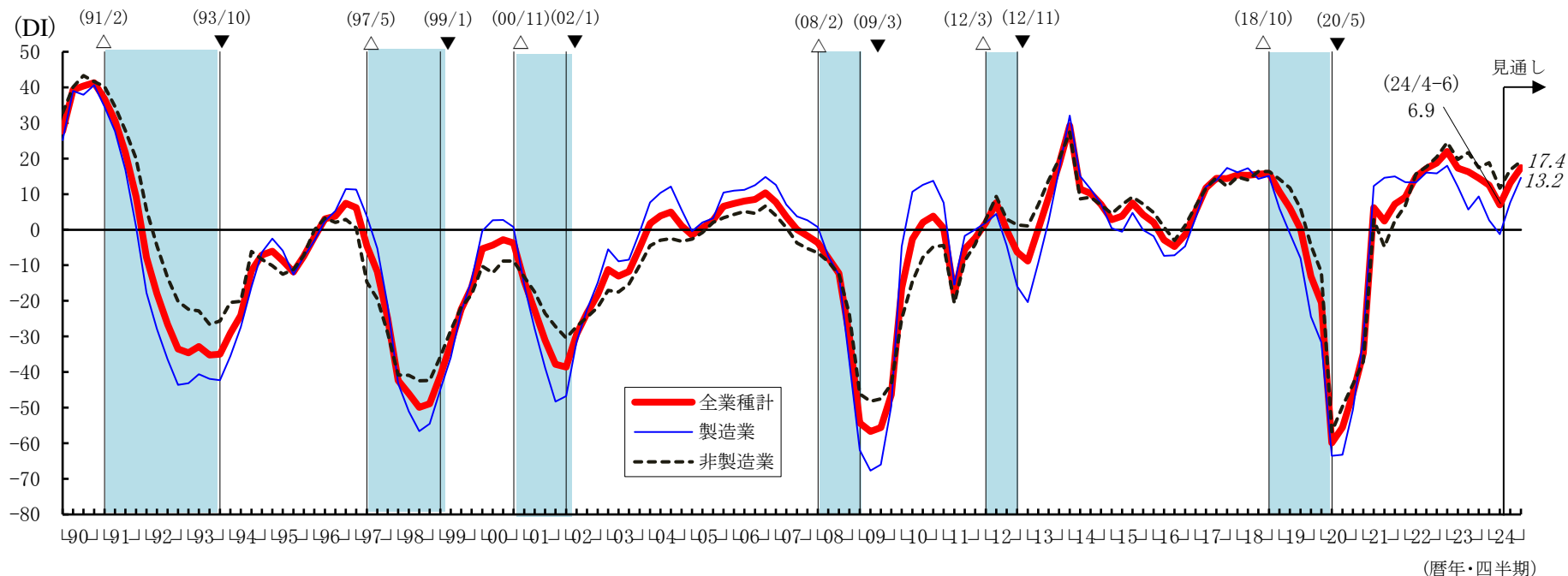


2 売上

- 今期の売上DIは、前期から5.6ポイント低下し、6.9となった。
- 来期は13.2と上昇し、来々期は17.4となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6 (前回見通し)	2024/7-9 (前回見通し)	2024/10-12
売上DI (季節調整値)	17.3	16.3	14.5	12.5	6.9 (17.3)	13.2 (19.8)	17.4
製 造 業	12.1	5.7	9.3	2.6	▲ 1.3 (11.8)	7.7 (16.2)	14.5
非 製 造 業	19.8	21.7	17.4	18.8	11.7 (19.8)	16.9 (22.1)	19.2



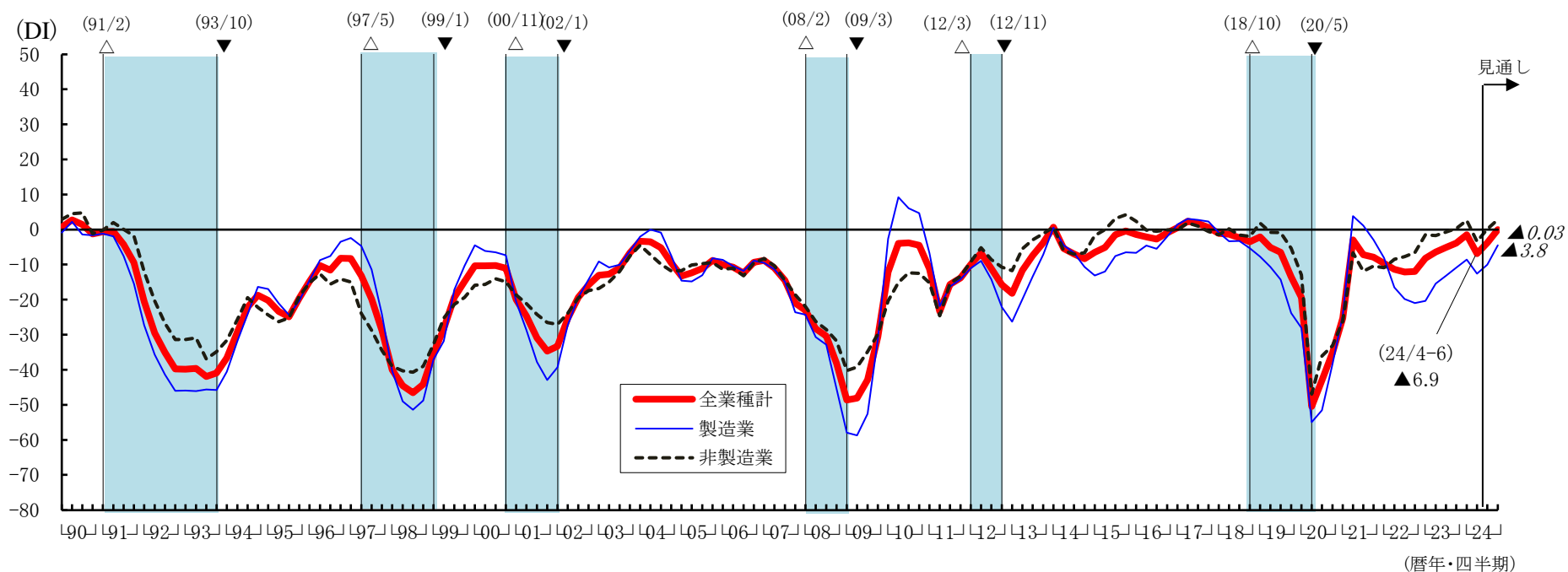
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が5.4ポイント拡大し、▲6.9となった。
- 来期は▲3.8とマイナス幅が縮小し、来々期は▲0.03となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6 (前回見通し)	2024/7-9 (前回見通し)	2024/10-12
純益率DI (季節調整値)	▲ 6.4	▲ 5.1	▲ 3.9	▲ 1.5	▲ 6.9 (0.0)	▲ 3.8 (2.7)	▲ 0.03
製 造 業	▲ 15.4	▲ 13.2	▲ 10.9	▲ 8.6	▲ 12.6 (▲ 5.3)	▲ 10.1 (▲ 1.9)	▲ 4.5
非 製 造 業	▲ 1.7	▲ 0.7	0.3	2.6	▲ 3.4 (3.2)	0.1 (5.7)	2.8



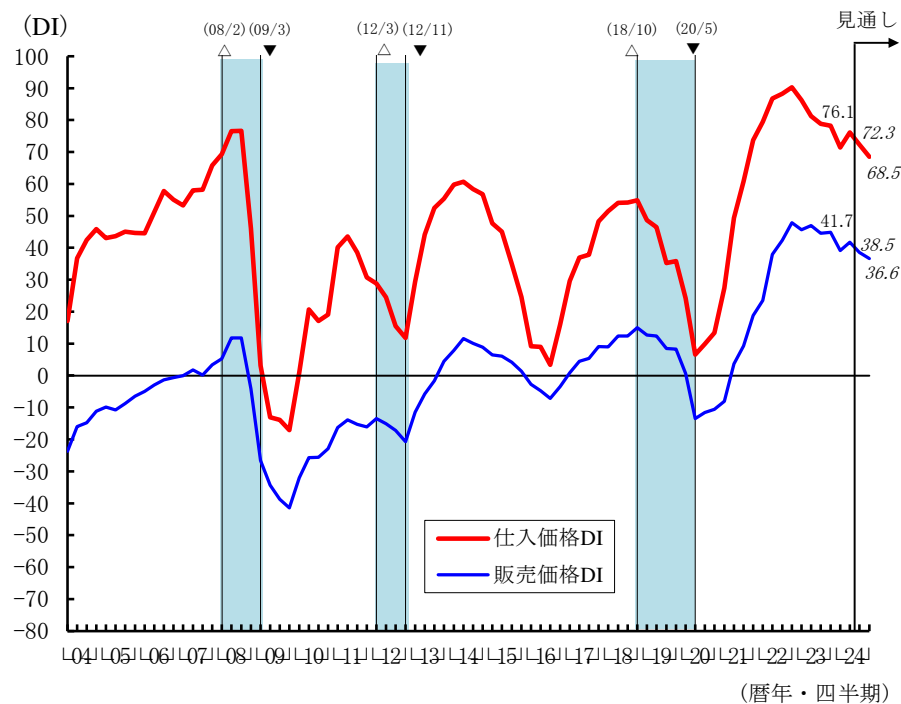
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から2.6ポイント上昇し、41.7となった。仕入価格DIは前期から4.7ポイント上昇し、76.1となった。来期の販売価格DI、仕入価格DIは、ともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは、前期から3.3ポイント低下し、▲0.6となった。長期借入難易DIと短期借入難易DIは、ともに前期から低下した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

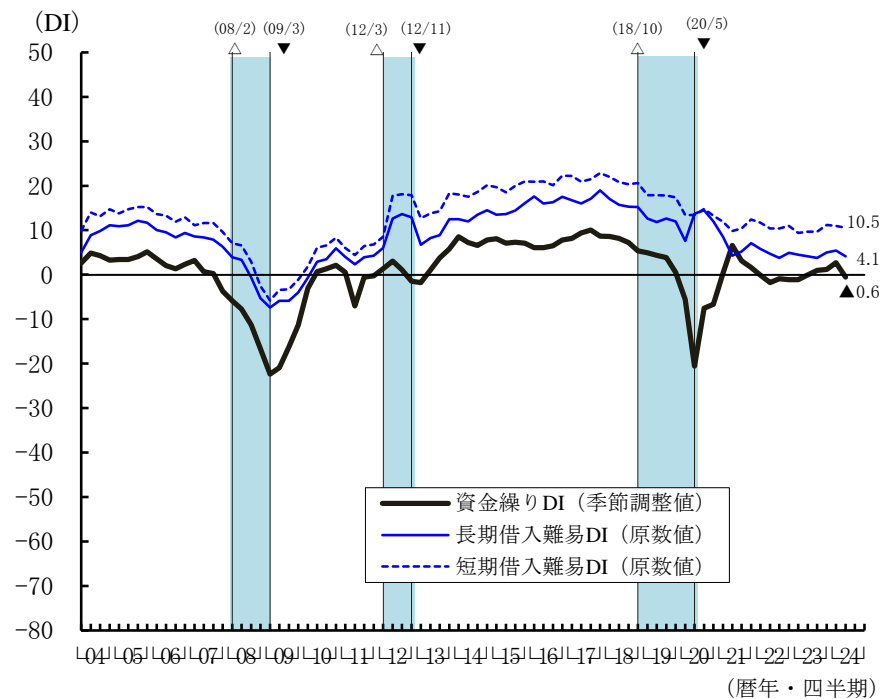
	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12
販売価格DI	47.0	44.6	44.9	39.1	41.7	38.5	36.6
仕入価格DI	81.2	78.8	78.2	71.4	76.1	72.3	68.5



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6
資金繰りDI（季節調整値）	▲0.1	1.0	1.2	2.7	▲0.6
長期借入難易DI（原数値）	4.1	3.8	5.0	5.4	4.1
短期借入難易DI（原数値）	9.7	9.7	11.2	11.0	10.5



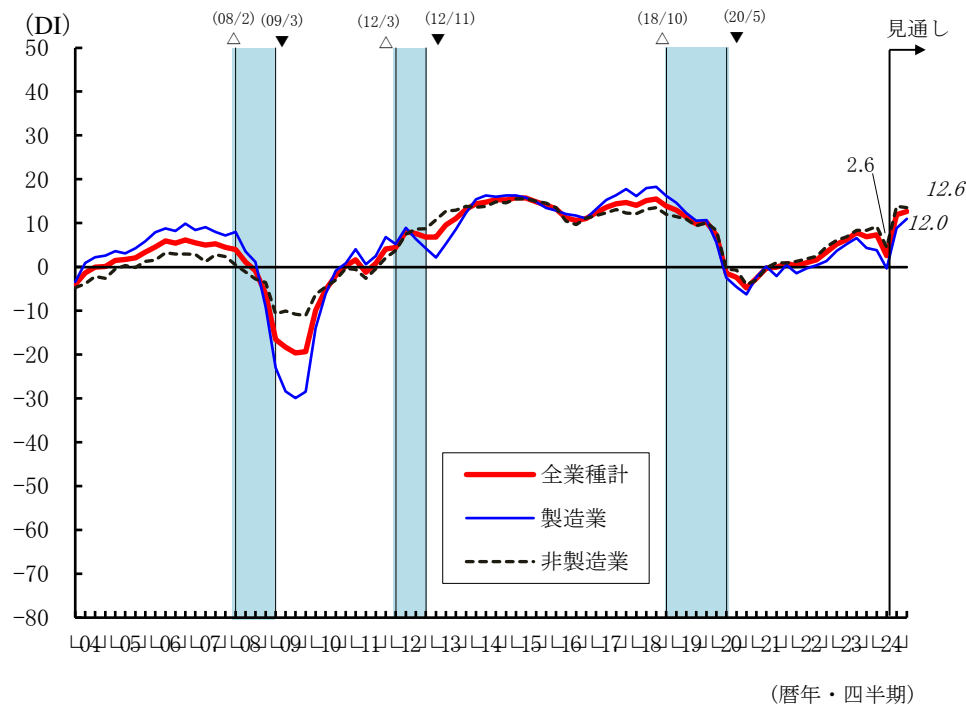
- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から4.7ポイント低下し、2.6となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期からほぼ横ばいで推移し、38.5%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

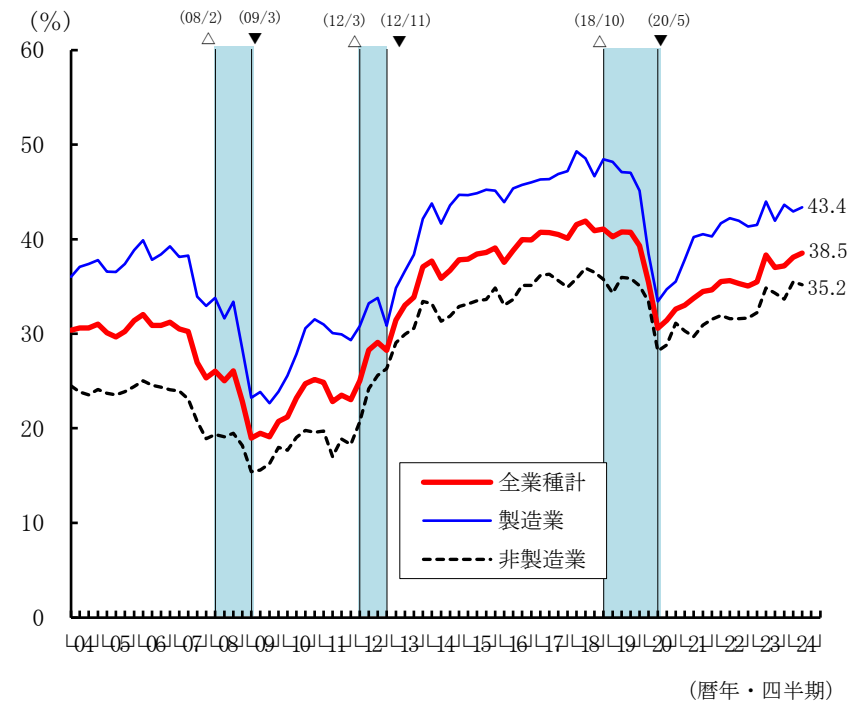
	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12
全業種計	6.2	7.8	6.9	7.3	2.6	12.0	12.6
製造業	5.2	6.6	4.3	3.8	▲0.3	8.8	11.0
非製造業	6.9	8.3	8.3	9.3	4.5	13.8	13.5



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6
全業種計	38.3	37.0	37.2	38.1	38.5
製造業	44.0	42.0	43.7	42.9	43.4
非製造業	34.9	34.3	33.7	35.5	35.2



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が29.4%と最も多く、次いで、「求人難」(26.3%)、「原材料高」(21.8%)となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は1.8ポイント低下した。「原材料高」は3.7ポイント上昇した。

図-10 経営上の問題点の推移

